

IT Solution for You!

PCI Holdings, Inc.



PCIホールディングス株式会社

(東証プライム市場：3918＝サンキュー<愛が>いっぱい)

2023年9月期 第1四半期決算説明資料

2023.2.7

目次

エグゼクティブサマリー

- 1.2023年9月期 第1四半期決算報告
- 2.2023年9月期 業績見通しと株主還元
- 3.中期経営計画 「PCI-VISION 2023」
- 4.PCI's SDGs
- 5.Company Profile
- 6.Appendix

売上高
6,644百万円
(前期実績 +767百万円)
(前年同期比+13.1%)

営業利益
267百万円
(前期実績 +37百万円)
(前年同期比 +16.2%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益
149百万円
(前期実績 -65百万円)
(前年同期比 -30.6%)

【事業環境】

当社グループを取り巻く**事業環境は良好**。全般的に経済活動の正常化に向けて緩やかに持ち直しの動き。
先端技術を活用したDXの加速による**IT投資需要は底堅く推移**。

【計画推進】

2023年9月期を最終年度とした中期経営計画「PCI-VISION 2023」を推進。
年度計画達成に向け第1四半期は**売上高、各段階利益ともに概ね計画通りの進捗**。

【事業成績】

過去同期（第1四半期）比較 **売上高・営業利益ともに過去最高**。注力分野であるIoT/IoEソリューションセグメントは**売上・利益ともに前年同期比大幅増**。前期は税効果の特殊要因があり、最終利益は前期比減。

【サステナビリティ】

気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言への賛同を表明。

2023年9月期
第1 四半期決算報告



連結貸借対照表サマリー

- ・流動資産：電子記録債権355百万円、棚卸資産309百万円増加等により、前連結会計年度末比**620百万円増加**
- ・流動負債：買掛金522百万円、電子記録債務331百万円増加等により、前連結会計年度末比**833百万円増加**
- ・固定負債：長期借入金211百万円の減少等により、**前連結会計年度末比205百万円の減少**
- ・自己資本比率：**44.6%**（前連結会計年度末は**45.9%**）

(百万円)	22/9期	23/9期 1Q
流動資産	11,205	11,825
現預金	2,629	2,306
売上債権	6,123	6,313
その他	2,452	3,206
固定資産	5,709	5,629
有形固定資産	952	953
のれん	2,150	2,105
その他	2,606	2,569
資産合計	16,915	17,455

(百万円)	22/9期	23/9期 1Q
流動負債	6,509	7,342
仕入債務	2,979	3,832
借入	872	872
その他	2,657	2,637
固定負債	2,031	1,826
借入	1,052	841
退職給付に係る負債	128	128
その他	850	856
負債合計	8,541	9,168
純資産合計	8,374	8,286
負債純資産合計	16,915	17,455

連結損益計算書サマリー

- ・過去同期（第1四半期）比較 **売上高・営業利益ともに過去最高**
- ・前年第1四半期においては、**グループ内再編に伴う税効果**の影響

(百万円)	22/9期 1 Q	23/9期 1 Q	前年同期比
売上高	5,877	6,644	+13.1%
売上総利益	1,473	1,427	-3.1%
(売上総利益率)	25.1%	21.5%	-3.6pt
販管費	1,242	1,159	-6.6%
営業利益	230	267	+16.2%
(営業利益率)	3.9%	4.0%	+0.1pt
経常利益	253	278	+9.8%
(経常利益率)	4.3%	4.2%	-0.1pt
親会社株主に帰属する四半期純利益	215	149	-30.6%
(同利益率)	3.7%	2.3%	-1.4pt

事業別の概況

【事業別概況】

エンベデッド：自動車関連、カメラ・センサー系案件が堅調。医療関連・事務機器関連コントローラの販売好調。

ビジネス：産業・流通、金融向け開発案件が堅調。キッティング業務等の請負案件が収益に寄与。

IoT/IoE：重機・建機 IoT関連開発が堅調。通信事業は新規取引先の開拓に成功。
太陽光発電AI保安システム売上寄与。

半 導 体：産業・インフラ・IoT等に係る強い引合いの継続に加え、基盤案件が堅調。一部不採算案件発生も
第2四半期内に収束見込み。

(百万円)	売上高		セグメント利益	
		前年同期比		前年同期比
ITソリューション事業 (A+B)	5,452	+12.9%	170	+35.2%
エンベデッドソリューション (A)	3,423	+13.2%	-	-
ビジネスソリューション (B)	2,028	+12.4%	-	-
IoT/IoEソリューション事業	633	+29.9%	38	+30.3%
半導体トータルソリューション事業	570	-1.0%	45	-38.7%
合計	6,644	+13.1%	267	+16.2%

(合計には調整額を含む)

2023年9月期
業績見通しと株主還元



2023年9月期業績予想 上期

・上期については為替の変動等の影響、部材供給制約の影響を考慮し、慎重な見通し

(百万円)	22/9期 上期 実績	23/9期 上期 予想	前年同期比
売上高	12,685	14,000	+10.4%
営業利益	805	725	▲9.9%
(営業利益率)	6.3%	5.2%	▲1.1pt
経常利益	835	740	▲11.4%
(経常利益率)	6.6%	5.3%	▲1.3pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	509	420	▲17.5%
(同利益率)	4.0%	3.0%	▲1.0pt
EPS	50.68円	41.74円	-17.6%

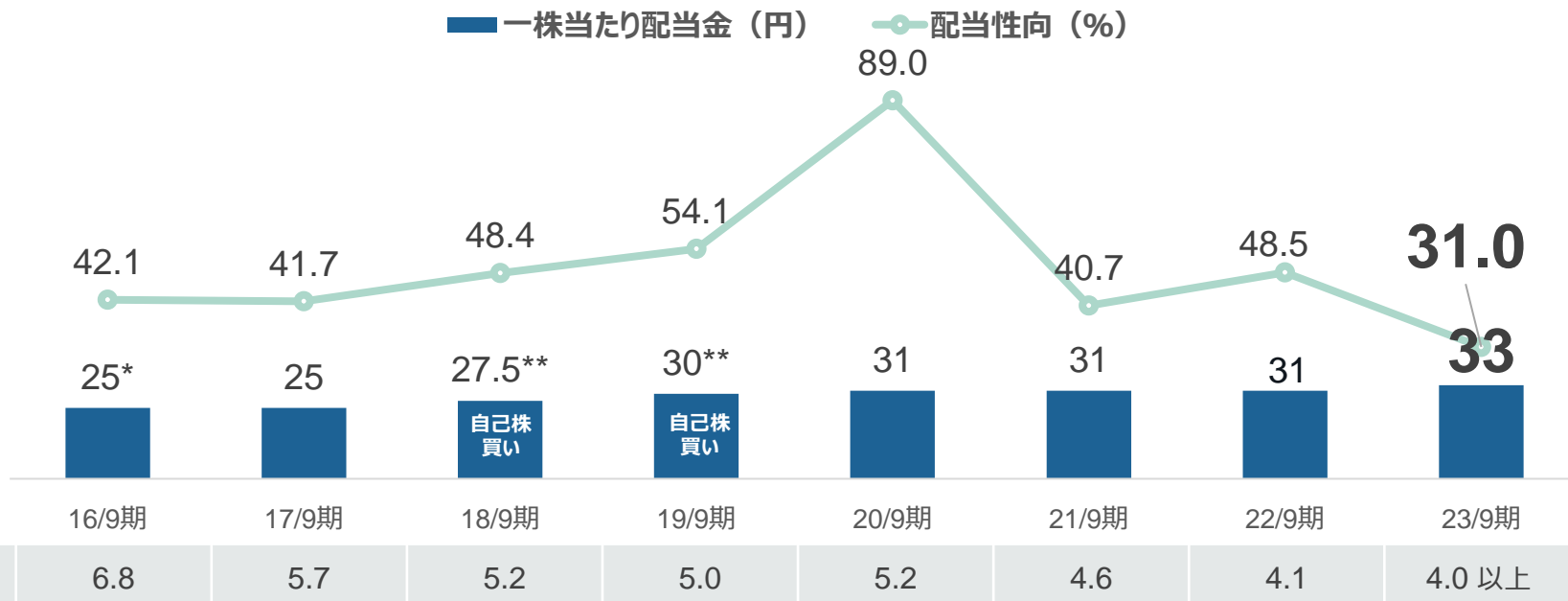
2023年9月期業績予想 通期

事業環境は、IoT、AI、メタバース等、社会全体で急速に進展するデジタル化・DX化の加速によるIT投資需要を背景に堅調に推移するものと見込む

(百万円)	22/9期 実績	23/9期 予想	前期比
売上高	25,170	30,000	+19.2%
営業利益	1,445	1,800	+24.6%
(営業利益率)	5.7%	6.0%	+0.3pt
経常利益	1,549	1,830	+18.1%
(経常利益率)	6.2%	6.1%	▲0.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	643	1,070	+66.4%
(同利益率)	2.6%	3.6%	+1.0pt
EPS	63.97円	106.34円	+66.2%

株主還元について

- 連結配当性向は30%~50%を目安に設定、上場来30%超を維持
- 安定した配当を継続しながら、総合的な還元の向上を目指す



*16/9期は記念配を含む (記念配 16/9期: 5円)

**自己株式取得の実績 18/9期: 約1.4億円分の取得 19/9期: 約2.3億円分の取得

***2016年4月1日付で1:2、2020年4月1日付で1:2の株式分割を実施、グラフは当該分割を遡及して修正

中期経営計画 「PCI-VISION 2023」



ソフト・ハードを問わず、 顧客のあらゆるITニーズに対応する ワンストップソリューションの確立

エンベデッドソリューション
製品設計・テスト
企画・製造・販売・保守



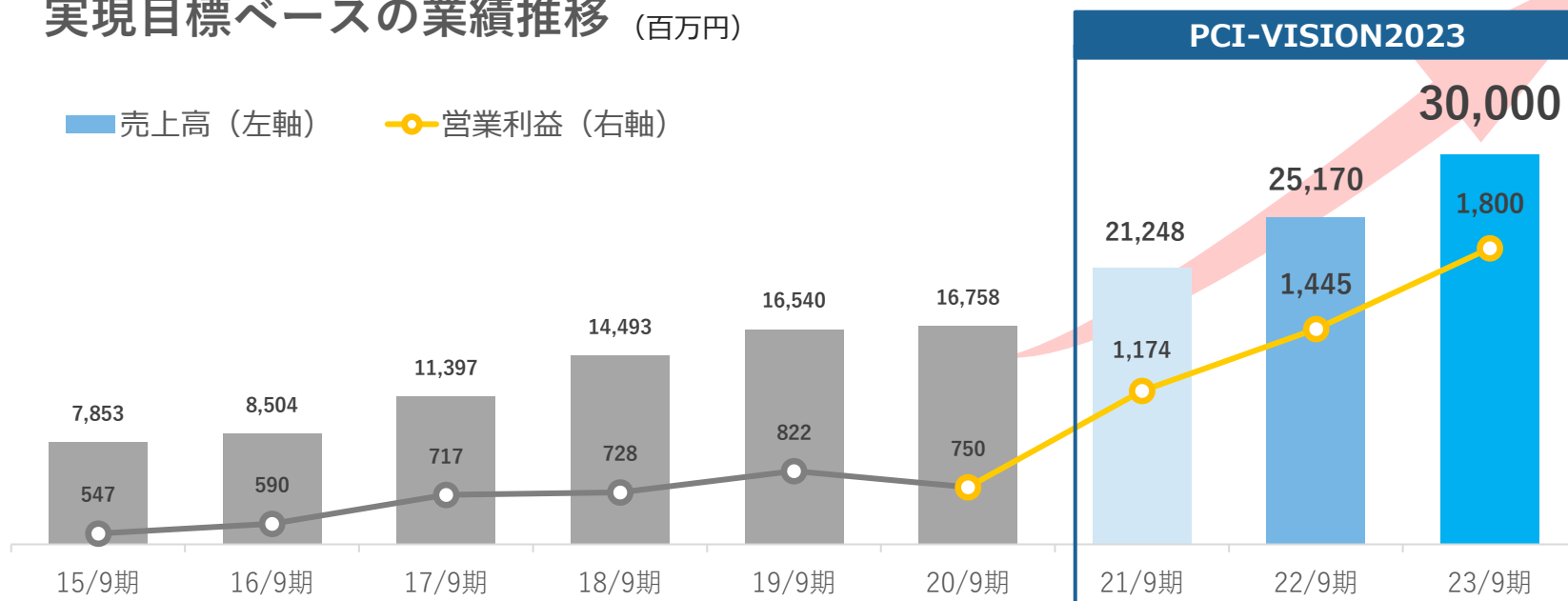
ビジネスソリューション
ITサービス、IoT/IoE
サイバーセキュリティ

M&A、業務提携、顧客ニーズに応える豊富な人財

中期経営計画目標値を挑戦目標から実現目標へ変更

- ・ 目標への挑戦で大きな飛躍へ→売上高300億突破を目指す！
- ・ 2021年1月のソードの完全子会社化により、売上高300億円、営業利益18億を「挑戦目標」から「実現目標」へ移行

実現目標ベースの業績推移 (百万円)



中期経営計画「PCI- VISION 2023」 定量目標

(百万円)	21/9期 実績	22/9期 実績	23/9期 計画
売上高	21,248	25,170	30,000
営業利益	1,174	1,445	1,800
親会社株主に 帰属する当期利益	669	643	1,070
1株当たり純利益 (円)	76.12	63.97	106.34
ROE	10.7%	8.5%	12%以上
連結配当性向	40.7%	48.5%	30%~50%
連結純資産配当率	4.6%	4.1%	4.0%以上

① システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上

→コロナ禍から需要は回復企業。スマートシティ事業への参入開始など、デジタル社会の先端案件獲得へ

② 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出

→AI等、先端技術の深耕およびワンストップソリューション提供体制の確立を進める

③ サイバーセキュリティ関連事業の推進

→「AppGuard®」の拡販、その他ソリューションラインアップの充実へ

④ 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM&Aの推進

→既存提携先との連携強化、および当社事業とシナジー創出が見込まれる企業の発掘、M&Aの推進

⑤ 組織体制の強化及び働き方改革の推進

→人財採用及び教育の強化とともに、働き方改革を推進

PCI's SDGs



当社グループの取り組むSDGsの方針

- ・ 当社グループは I T をもって「**安心・安全・豊かな社会**」へ貢献し、事業活動と企業活動の両面から 4 つのテーマでSDGsに取り組みます。

安心・安全・豊かな社会



事業を通じた貢献

IoTでつながる社会が
生み出す『安心・安全』

M&Aを通じた産業と
技術革新の基盤づくり

企業としての貢献

当社グループのネット
ワークを生かした貢献

蓄積された知見の提供
による次世代育成



「安心・安全・豊かな社会」を目指して

- ・「安心・安全・豊かな社会」への貢献を基軸に続けてきた社会活動ならびに「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みを、これからも継続します

CSR

ESG

SDGs

2015

マザーズ上場

2016

東証一部上場

2017

2018

2019

2020

2021

2022

プライム市場移行

2014.5 スポーツ振興、青少年育成

2014.9 国連WFPの支援

2016.1 非常時のアドホック通信ネットワークの活用に関する研究会

2016.12 Dolphin Breeding Projectの支援

2017.2 立教池袋中学校・高等学校数理研究部の活動サポート

2017.3 「熊本城災害復旧支援金」への寄付

2018.1 地方創生と人づくりを目的とした包括的 ICT 連携（山形県村山市）

2018.10 学生投資連合USIC 主催イベントへの参加・協賛

2021.2 ドローンを活用した太陽電池発電所の点検業務高度化の実験開始

2021.4 点字名刺プロジェクトの支援

2021.4 OpenVino™*を利用した安心・安全なサービスに向けたAIによる車両検知開発

*OpenVino™：Intel社が提供するインテルが提供するCPU、内蔵GPU、インテル®FPGA、インテル®Movidius™VPUといったさまざまなハードウェアでディープラーニング推論をより高速に実行するためのソフトウェア開発環境

当社のサステナビリティ課題への取組方針

当社は、サステナビリティを巡る課題への対応が経営の重要課題であると認識しております。今後もサステナビリティを巡る解決に向けた取り組みを積極的かつ継続的に実行することにより、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指しております。当社グループは、「企業理念」と「行動方針」を、サステナビリティ経営の基本方針と位置付けています。

	ESGの主要テーマ (重要課題)	関連する 主なSDGs	当社の取組 (方針/具体的取組)
	地球温暖化対策 ／ 資源循環社会	  	<ul style="list-style-type: none"> ■ITソリューションによる環境負荷低減への貢献 ・太陽光発電施設の点検効率化ソリューション ・電気自動車発展のためのソリューション ・スマートシティ事業への技術参画 ・生態系の保護のためのソリューション etc.
	安全で持続可能な社会	 	<ul style="list-style-type: none"> ■ITを活用した安心・安全・便利な街づくり/人々の健康的な生活への貢献 ・後方車両検知ソリューション ・除雪状況監視ソリューション ・見守りソリューション ・健康リスク検知ソリューション etc.
	イノベーションと 経済成長	  	<ul style="list-style-type: none"> ■研究開発/M&Aを通じた産業と技術革新の基盤構築 ・技術/ソリューション強化のための研究開発投資 ・先進技術協議会の設置/充実 ・様々なITニーズへの対応を可能にするためのパートナー戦略の推進
	雇用と人財活用	  	<ul style="list-style-type: none"> ■蓄積された知見の提供による次世代人財の育成 ・学校/学生団体教育支援 ・IT技術・スキル習得支援による高度人財の育成（「人材育成方針」の策定） ・職場環境/働き方改革の推進（「社内環境整備方針」の策定） ・ダイバーシティ推進による全ての社員に平等な機会提供、育成、登用の実現
	適正なコーポレートガバナンス体制	 	<ul style="list-style-type: none"> ■コーポレート・ガバナンスの充実 ・コーポレート・ガバナンスコードへの対応 ・リスクマネジメント/コンプライアンス（法令順守） ・適正な情報開示と透明性の確保 ・説明責任
			

Company Profile



当社が手掛ける4つの事業領域

- ソフトウェア開発から半導体事業まで、ソフトとハードにまたがる横断的な4事業を展開、ソフトとハード、両面に知見・技術力を有するのが当社の強み

ソフト重視

ハード重視

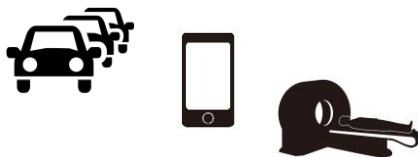
ビジネスソリューション事業



金融、製造業、官公庁系など、社会のインフラを支える幅広い業態のITシステムを構築

■ 関連市場
ソフトウェア開発、DX等、ICT投資全般

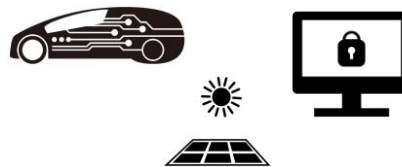
エンベデッドソリューション事業



自動車、情報家電、モバイル端末や医療用MRI等に組み込まれるソフトウェア開発並びにハードウェアの設計・テスト・企画・製造・販売・保守

■ 関連市場
DX、IoT、自動車、半導体、医療等

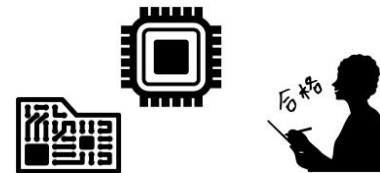
IoT/IoEソリューション事業



自動車業界やエネルギー業界向けのIoTソリューションを開発。位置情報やAR/VR技術の応用も行う

■ 関連市場
IoT、通信、エネルギー、AR/VR等

半導体トータルソリューション事業



情報社会に必須の半導体分野において、設計からテスト等、開発全般にかかわるサービスを提供

■ 関連市場
半導体、IoT、通信等

会社概要



商号	P C I ホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	20億9,189万円 (2022年9月末現在)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	25,170百万円 (2022年9月期実績) 30,000百万円 (2023年9月期予想)
上場	東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 3918)	営業利益 (連結)	1,445百万円 (2022年9月期実績) 1,800百万円 (2023年9月期予想)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,680名 (2022年9月末現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 横山 邦男	連結子会社	P C I ソリューションズ (株) (株) ソード (株) りーふねっと (株) プリバテック

役員体制・拠点一覧

役員体制

役職	氏名	経歴等
代表取締役会長	天野 豊美	日本エヌ・シー・アール(株) 常務取締役 (株)しんきん情報システムセンター 理事
代表取締役社長	横山 邦男	(株)三井住友銀行 常務執行役員法人部門副責任役員 三井住友DSアセットマネジメント(株) 代表取締役社長兼CEO 日本郵便(株) 代表取締役社長執行役員社長
専務取締役	堀部 保弘	(株)三菱総合研究所 執行役員ソリューション事業本部統括室長
取締役	井口 直裕	Profit Cube(株) 経営企画室長 取締役経営企画本部長
取締役	杉園 和也	Profit Cube(株) 財務経理室長 取締役管理本部長
社外取締役	小野 種紀	ゴールドマン・サックス証券パートナー・マネージング・ディレクター (株)三井住友銀行執行役員 日本郵便(株)専務執行役員 日本郵政キャピタル(株)代表取締役社長
社外取締役 (常勤監査等委員)	太平 博一	大蔵省銀行局特別金融課課長補佐 金融庁検査局検査監理官 有限責任監査法人トーマツ金融コンサル部門ディレクター (株)地域金融経済研究所取締役理事
社外取締役 (監査等委員)	高原 明子	三菱商事(株) ウオンテッドリー(株) 社外取締役 (監査等委員) (株)リブ・コンサルティング社外取締役 (監査等委員)
社外取締役 (監査等委員)	野村 昌弘	公認会計士 朝日監査法人 (現有限責任あずさ監査法人) アヴァンセコンサルティング(株)代表取締役 あがたグローバル税理士法人 日本公認会計士協会東京会幹事
社外取締役 (監査等委員)	坂栄 鷹子	弁護士 農林水産省 井垣法律特許事務所

PCIグループ拠点 《国内8拠点》

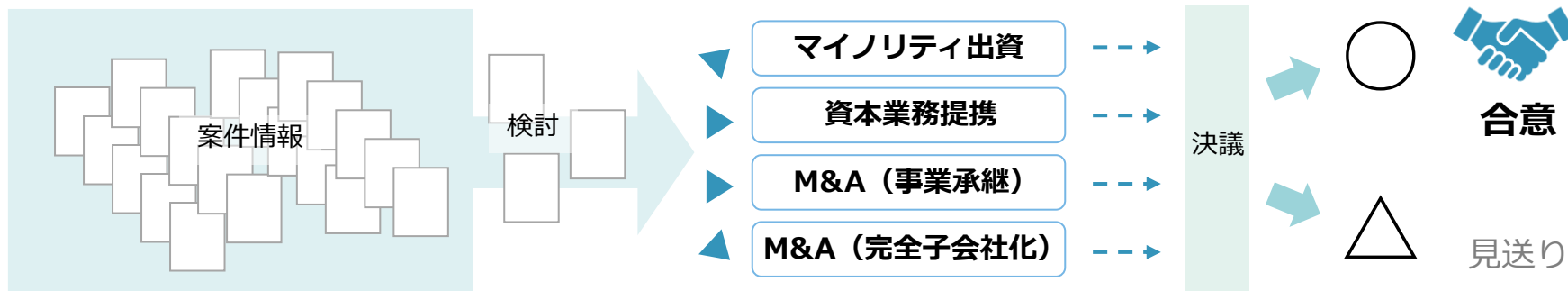


Appendix



M&A、パートナー戦略の考え方

- 中長期的な成長を見据えた「**先行投資**」としてパートナー戦略を推進
- **常時複数の案件**を進行し、積極的な資本参加を検討中



並行して複数の案件情報を
取得、精査



レスターホールディングスとの資本業務提携の経緯

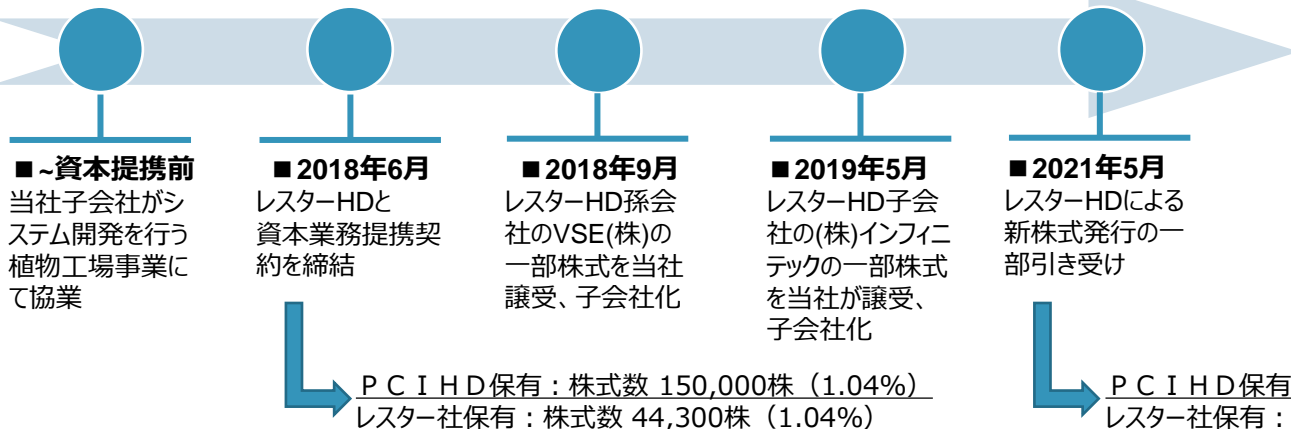
- 2018年にレスターホールディングスと資本業務提携契約を締結し「**共創協議会**」を設置
- ソフトウェア開発を得意とする当社グループと、半導体・ハードウェアに知見を持つレスターHDの「共創」により、**ITサービスのワンストップソリューションの確立**を目指す



レスターホールディングス



PCIホールディングス

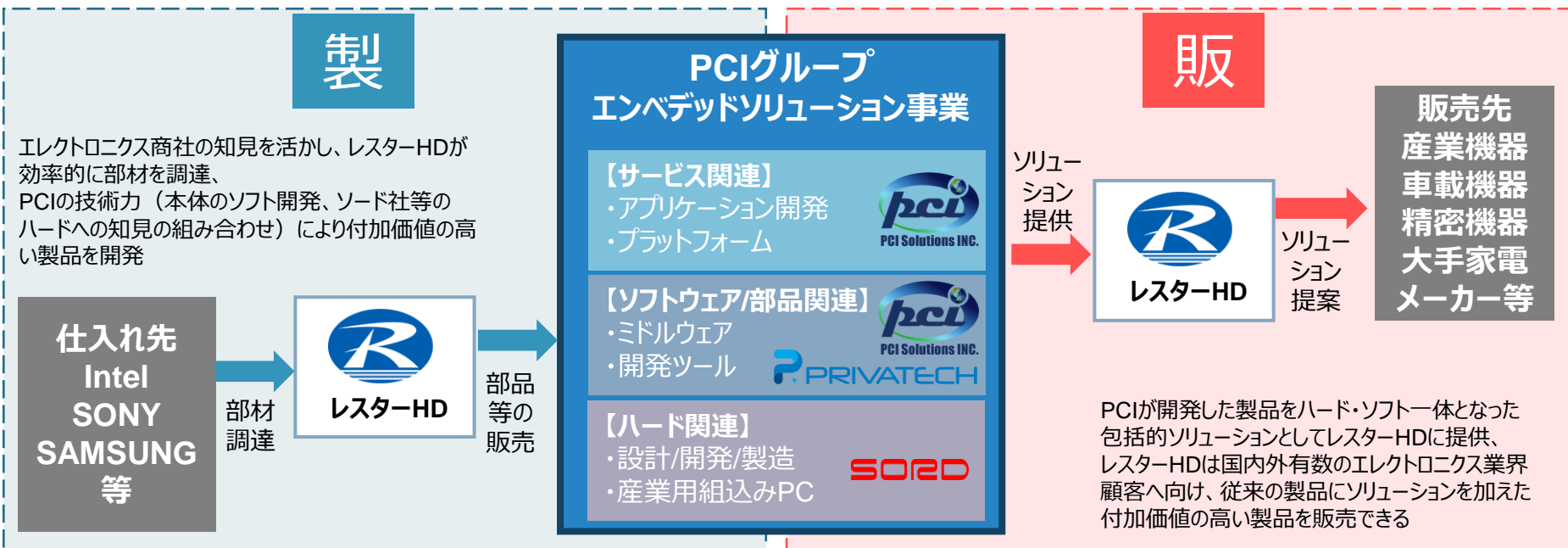


レスターHDとの
緊密な連携で、
「ワンストップ
ソリューションの
確立」を
目指す

レスターホールディングスとの協業による製販一体構想

- ・ エレクトロニクス商材に強いレスターHDより調達した部材をもとに、当社のソフト・ハードの知見を踏まえた高付加価値の製品を開発、レスターHDと繋がる国内外大手の販売先へ販売することで、製販一体のワンストップソリューションが可能となる

レスターHD社との協業により、製販一体のワンストップソリューション提供へ！



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、
資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

PCI ホールディングス株式会社 IR室（阿部）
E-mail : ir@pci-h.co.jp / 電話 : 03-6858-0536
受付時間 : 9:00~17:00（土・日・祝祭日除く）

IR動画はこちら→
（またはコチラをクリック）



Positively, Change, Innovate

～積極的に、変化と革新をし続ける～

